



# 進路だより



令和 2 年度 12 月号

## ～ 2020 年の締めくくりに迎えて ～

今年も残りわずかとなり、冬休みに入ります。年末年始はご家庭の都合もあると思いますが、2週間余りの期間をどのように過ごすか事前に計画を立てたうえで、しっかり学習時間を確保しましょう。

3年生は大学入学共通テストまでもう1か月を切りました。毎日懸命に勉強している様子が見えがえまます。風邪・インフルエンザ・コロナが流行していますので、うがい・手洗いで予防に努めてください。勉強時間と睡眠時間のバランスを取りながら、1日1日を大切に過ごしましょう。

1・2年生は、冬休みにしかできない勉強に取り組んでください。各科目で課題が出されていますが、ただ解いただけでは身に付いておらず、その結果「勉強したけど課題テストの点数は悪かった」ということになってしまいます。今月号は『冬休みの勉強法』として、進路委員が自身の苦手科目を克服するべく、各教科担当の先生方に質問をしています。以下の先生方のアドバイスを参考にして、皆さんも充実した冬休みを過ごしてください。よいお年を！

**冬休みの勉強法** 進路委員が各教科の先生にお伺いしました。

### 【国語】(徳藤先生)

- Q. 助動詞の意味の見分け方が分からない。
- A. 文法と文の中での使われ方をリンクさせて覚える。
- Q. 論説文の読み取りが分からない。
- A. 接続詞など、文の構成に注意して読む。

### 【国語】(正木先生)

- Q. 古文の文法が苦手です。
- A. 実践的な問題を解いて苦手を発見し、その苦手を文法書などの問題で解消する。
- Q. 古文の読解が苦手です。
- A. 本文内に答えはあるから、正誤に関わらず、解答の根拠となるところを押さえる。

### 【数学】(仲岡先生)

- Q. ある程度のレベルの問題は解けるけど、難しい問題になるとペンが止まってしまいます。
- A. すぐに難しい問題は解けるようにならない。参考書の解説をしっかりと読んで地道な理解を積み重ねる。

### 【数学】(笹岡先生)

- Q. 確率が苦手です。
- A. 場合の数、確率の分野は、比較的他の分野に比べて公式が少ないです。その分、普段から公式に頼らず、しっかりと考えて問題を解いていかないと、いざテストになったら不安になります。問題を解いて間違えたら、「なぜ？」と悩む時間を必ず作ってください。その時間が一番大切です。「なぜそうなるのか。」ということ自分の力で考え抜いてください。そういうことをしていけば、必ず学力は向上します。

### 【英語】(砂田先生)

- Q. 長文が苦手です。 A. 設問にまず目を通す。
- Q. 文法が苦手です。 A. 何度も問題を完璧になるまで解き直す。日々の文法と単語を大切に！

### 【英語】(武井先生)

- Q. リスニングが苦手です。 A. CDやアプリで音を聞く。毎日コツコツする。

【英語】(河野先生)

- Q. 長い単語が覚えられない。
- A. 「根語」を見抜いて、それを中心に覚えます。接頭辞 (dis, un) 接尾辞 (ation, ate) などを覚えると増えます。

【生物】(佐々木先生)

- Q. 生物の分類が苦手です。
- A. 生物の分類は今までのまとめなので、復習が大事。動物は旧口動物と新口動物という大きな分類の理解をする。光合成生物は光合成色素に注目する。

【地学】(秋長先生)

- Q. 言葉の説明を文章で書く問題が苦手です。
- A. 本当に正しく理解していないとできないので、丸暗記ではなくて、原理や仕組みを理解すること。その時、図を活用するとよい。
- Q. グラフを読み取って答える問題が苦手です。
- A. 縦軸と横軸が何を示しているのかを理解すること。文章とグラフを照らし合わせる。

【地理】(清川先生)

- Q. 覚えることが多い。
- A. 暗記する内容を明確にする。将来、正誤問題に備え確実に暗記しよう。因果関係の理解や関連づけが記憶定着に効果的かつ重要。

【現代社会】(須之内先生)

- Q. 暗記が苦手です。用語や理由を覚えるのに時間がかかってしまう。
- A. 覚えようとしないうこと。覚えようとして覚えても、内容が入りにくい。ストーリーを楽しむ。

【大学入学共通テスト】

- Q. 大学入学共通テストに向けて、3年生へのメッセージをお願いします。
- A. 砂田 先生：焦る時間がもったいない！今できることを全力で！常に本番と思って共通テスト対策問題を解く。
- A. 兵頭弘先生：センター試験から大きく変わる。本番で試行テストと若干変わっていても、動揺しないよう、たくさん練習を積んでおく。
- A. 武井 先生：3年間培った力を十分に発揮して下さい。南高生ならできます！
- A. 笹岡 先生：やはり「基礎」が分かってないと解けません。教科書レベルは(章末問題を含む)必ず解けるようになりましょう。あと、計算スピードを上げると共に、別解を考える習慣を普段からつけましょう。
- A. 長田 先生：自分がやってきたことを信じて、自信をもって臨もう！
- A. 松田栄先生：化学基礎の教科書を1日1回1冊分見直せ。最後まであきらめるな！
- A. 秋長 先生：解けるとして解くこと。自分を信じて頑張れ！
- A. 北尾 先生：健康第一。睡眠は最低5時間を確保。日本史については、問題演習→教科書・授業プリントの復習の流れで学習する。問題演習だけでなく、解いて基本へ戻るの繰り返しを行う。
- A. 清川 先生：共通テストは、問題の聞かれ方が変わるだけです。基礎をしっかりと固めて、初見の問題も解ける実力をつけましょう。また、その地理の学習において大切なことは、なぜそうなるのか(因果関係を)理解することと、地図、グラフを読み取る力です。そういった点を意識し、受験勉強、頑張ってください。
- A. 須之内先生：点数のための努力ではなく、夢に近づくための努力！！

ご協力いただいた先生方、ありがとうございました。

苦手科目の克服法はいろいろあります。でも、克服したいと思って、勉強をやり始めることが第一歩です。冬休みはそのいいチャンスです。挑戦を始めましょう。